

創刊号

2017.8

# 東京マガジンバンクカレッジ



雑誌総合セクション

[デジタルフォトマガジン]

東京都立多摩図書館

# 目次

第1章	自分フィルターで楽しむ！	2
第2章	水辺・花・色	16
第3章	厳選ベストショット——あんな犬・こんな猫	30
第4章	元気、楽しい、大好き！ じぶんが主役。	44
第5章	エンジョイ × カラフル × デリシャス × ハッピーごはん	58
第6章	街の音が聞こえる	76
第7章	季節の記憶	89

# 第1章 自分フィルターで楽しむ！

いつも見ている日常の中に、もうひとつの景色を見つけてみませんか？  
ちょっと視点を変えて眺めれば、新しい景色が見えてきます。見つけた景色に心はワクワク冒険気分。もっと知りたい、気分を変えたい、私らしさを探したい、それが自分フィルター。フィルターの数だけ、いつもの景色が無限大に広がります。さあ、自分フィルターをセットして、身近なものにフォーカスイン！そこにはどんなストーリーが隠れているのでしょうか。発見は、あなたの生活を楽しく彩りあるものに変えてくれます。今回は、器の中、自分の庭、そして好きな場所に見つけたストーリーをご紹介します。

## 日常の中に、自分のストーリーを見つける。

[春、テーブルの上も春景色]	Akiko Ishiko
[初夏、薔薇の色香を堪能する]	Akiko Ishiko
[秋、和の美しさが映える時]	Akiko Ishiko
[冬、優しさが必要な時]	Akiko Ishiko
[庭の木がお気に入り 野鳥キジバト]	Kyoko Hosoda
[胸に黒いネクタイ模様 シジウカラ]	Kyoko Hosoda
[ノラでも癒される不思議な魅力 猫]	Kyoko Hosoda
[害虫ハンター カマキリ]	Kyoko Hosoda
[図書館と雑誌の世界]	Okachimachi
[図書館と案内文の世界]	Okachimachi

[図書館と器械の世界]

[Tokyo Metropolitan Tama Library]

Okachimachi

Okachimachi

## 春、テーブルの上も春景色

蝶が舞う先は何色の花が待っているのかしら？平安時代までは「蝶」を和歌に詠むことは極めて少なかったそう、なぜかしら・・・。



初夏、薔薇の色香を堪能する

待ちわびた薔薇の開花は感動的、注いだ愛情が深ければなおのこと。平安の人々が愛でた薔薇は、中国の原産の紅色の庚申薔薇。



## 秋、和の美しさが映える時

道端に飾らずに咲く野菊の美しさに気づけたとき、うれしかった。平安時代、人々は白菊が紫に変色する様を愛でたそう。



秋をおきて

時こそ有りけれ 菊の花

うつろふからに

色のまされば

平貞文（古今和歌集）

冬、優しさが必要な時

寒い時は優しさで大切な人を温めて。大事に思う心は必ず届くもの。歌を詠み、思いを素直に伝える万葉人がうらやましい。



庭の木がお気に入り 野鳥キジバト

見つめていると「ん？ 何ですか〜？」と言いたげに首をかしげた。つがいは仲が良くデーデポッポの鳴き声やトコトコ歩きが愛らしい。



胸に黒いネクタイ模様 シジュウカラ

言語能力があるという鳴き声、ひまわりの種子を食べるために両足で押さえてコツコツくちばしで連打する音。聞こえるだけで楽しい。



ノラでも癒される不思議な魅力 猫

逃げられても懲りずに庭の野鳥に近づく。いつもの塀の上散歩の後は物置の上で長時間お昼寝。目覚めたら念入りに毛づくろい。



## 害虫ハンター カマキリ

夏、庭で花が咲き野菜が育つ。現われる虫は千差万別で面白い。植物の天敵を捕食してくれる大きなカマの持ち主の活躍を応援したい



## 図書館と雑誌の世界

雑誌・雑誌・雑誌 コンビニに並ぶ雑誌から普段目にしない業界専門誌まで奥深い雑誌の数々。



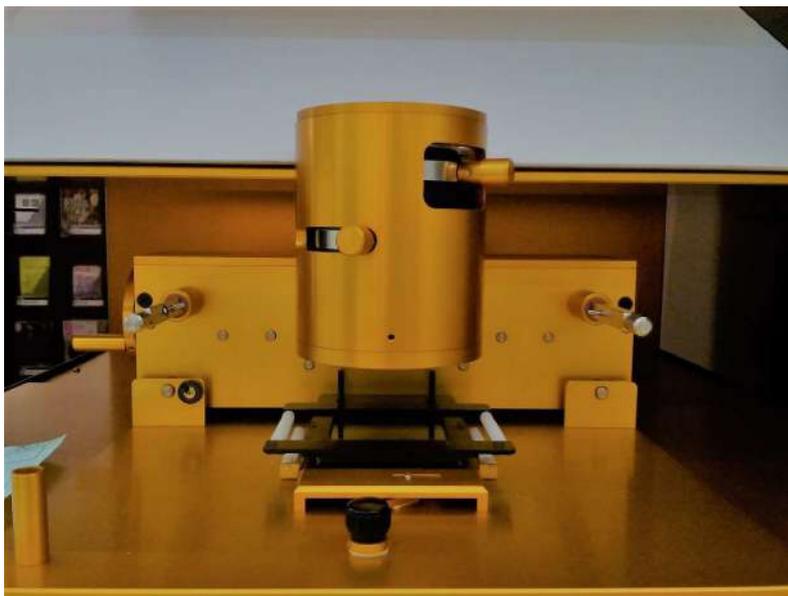
図書館と案内文の世界

透明でも、見える人には見える。



## 図書館と器械の世界

デジタルの世の中、きれいな器械でのロマン溢れるアナログ作業。



Tokyo Metropolitan Tama Library

図書館からの帰り、気づかなかった看板が見送りしてくれた。



## 第2章 水辺・花・色

空中に立ち並ぶ高層ビル、タワーマンション、地下には地下鉄網が張り巡らされている人工都市・東京。しかし、その地上の一隅には堀、わき水の池、水辺や湿地がある。そして、そこには様々な植物が花や実をつけ、季節の移り変わりを告げ、人々の目をひき、心を揺さぶり、癒やしている。

今や国際的な桜の名所となっている都心の千鳥ヶ淵は春到来とともに多くの老若男女が集い、堀の水面にあでやかな姿を映すソメイヨシノに目を奪われ、感嘆の声を投げかける。西方の石神井公園では三宝寺池に睡蓮、カキツバタなどが咲く。国分寺のお鷹の道の湧き水にはカラーも。それぞれが花の命を惜しみなく謳歌している。

### 花の名は

[千鳥ヶ淵にて…]	川原よし子
[千鳥ヶ淵にて]	川原よし子
[武道館と桜]	川原よし子
[イタリア会館前にて]	川原よし子
[カキツバタ群生]	吉廣紀代子
[池に映える睡蓮]	吉廣紀代子
[紫陽花も負けじと]	吉廣紀代子
[水芭蕉は水辺の女王]	吉廣紀代子
[お鷹の道に咲くアジサイ]	ホソイ
[お鷹の道に咲くシモツケ]	ホソイ

【お鷹の道に咲くビヨウヤナギ】

ホソイ

【お鷹の道に咲くカラー】

ホソイ

千鳥ヶ淵にて…

水へ手をのばすように咲く桜.水面に散る花びらが過ぎてゆく春をひっそりと伝えます.



千鳥ヶ淵にて

ここにも水面にうつる桜色.まるで水の中で桜が咲いているようです.



## 武道館と桜

4月のある日.この日は折しも学校の入学式が行われていた様子.桜並木の下で、  
新入生は何を思っていたのでしょうか…



イタリア会館前にて

イタリア会館前の街路樹.ふと見上げると桜のすきまから陽の光.空と桜の色が溶けあう様子を視線がすいよせられていきます.



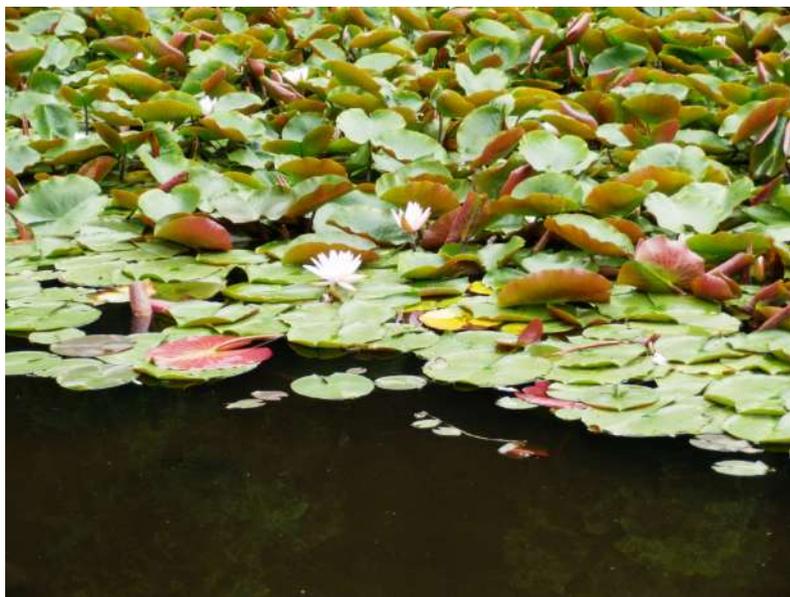
## カキツバタ群生

5月から6月にかけて一気に花を開くカキツバタ。カメラや絵筆を持つ人、池の周辺に集う人々惹きつけている（石神井公園・三宝寺池）



## 池に映える睡蓮

一気に葉を広げ6月初めその障地を広げる睡蓮は、絡み合う葉の間から清楚な花を咲かせ池の表情を変えてしまう。(石神井公園・三宝寺池)



## 紫陽花も負けじと

梅雨の雨が似合う紫陽花。湧き水の池に咲く花は雨に当たらなくてもしっとりとした趣を醸し出している。(石神井公園・三宝寺池)



## 水芭蕉は水辺の女王

水辺の花の代表格は水芭蕉。残念ながら都内に群生は見られないので、尾瀬ヶ原まで足を伸ばして対面し、その美しさに見とれた。



## お鷹の道に咲くアジサイ

初夏の頃、国分寺お鷹の道で、沿道に咲くアジサイ。少し木陰で、青い花を咲かせ、風に揺られて、時が過ぎゆく。



## お鷹の道に咲くシモツケ

初夏の頃、国分寺お鷹の道で、沿道に咲くシモツケ。日差しの中、眩しそうに、桃色の花を咲かせ、初夏を彩る。



## お鷹の道に咲くビヨウヤナギ

初夏の頃、国分寺お鷹の道で、沿道に咲くビヨウヤナギ。生い茂る葉を背景に、黄色の花を咲かせ、夏を呼ぶ。



## お鷹の道に咲くカラー

初夏の頃、国分寺お鷹の道で、湧き水の水面に咲くカラー。キャンパスのように、白色の花が、夏色に染められてゆく。



## 第3章 厳選ベストショット——あんな犬・こんな猫

犬猫の写真撮るのは難しい。そんなことない！と反論する人は、一度スマホ片手にその辺の犬猫の写真撮影に挑戦してみるといい。わけのわからない物体しか撮れないはずだ。そう、やつらはなかなかいいショットを撮らせてくれない。それでも撮りたければ、地道に信頼関係を築き上げて心を開いてもらい、とっておきのポーズを見せてくれる日をじっと待つか、いいショットが撮れるまでその場でひたすらねばるしかない。それでも、たまに、偶然ひょいっと絶妙のショットが撮れてしまうことがある。おっ、腕が上がったのか？と調子に乗ってみるものの、次に撮ったのはまたわけのわからない物体……。犬猫の写真撮るのは、ほんとうに難しい。

### 拝見！ もふもふわんこ&にゃんこ大集合

【トモダチのしるし〜エルフィーとメイミー〜】	宇佐美綾乃
【息ピッタリのハイチーズ！】	宇佐美綾乃
【メリークリスマスわんこ】	宇佐美綾乃
【ずーっと仲よし、寝るときも一緒】	宇佐美綾乃
【塀の上のねこ】	赤塚きょう子
【お茶ねこ】	赤塚きょう子
【浦和ねこ】	赤塚きょう子
【看板ねこ】	赤塚きょう子
【ねこが来た！—お正月—】	西岡英子
【ねこが来た！—春—】	西岡英子

【ねこが来た！—秋—】

西岡英子

【ねこが来た！—クリスマス—】

西岡英子

トモダチのしるし～エルフィーとメイミー～

ビーグルのエルフィー(左)が10歳の時にやってきたチワワのメイミー(右)。2人がトモダチになった瞬間を捉えた1枚。



息ピッタリのハイチーズ！

カメラを構えハイチーズ！と撮った渾身の1枚はなんと2人揃って半目の写真。ある意味息ピッタリなベストショットとなった。



## メリークリスマスわんこ

クリスマスにチキンを頬張っていた筆者はふと思いついた。このサイズ、何かが入りそう…と。興味津々なわんこ達をすかさず激写。



ずーっと仲良し、寝るときも一緒

2人はたまにケンカもする。だが寝る時も頭をくっつけるほどに仲良しなのだ。こんな姿をずっと見ていたいと思う筆者であった。



## 塀の上のねこ

大田区、穴守稲荷神社の近くでバツタリ。白さがまぶしい。危ない来訪者から家族を守っている。たぶん。



## お茶ねこ

お茶の水女子大構内には猫が棲みついでいて、学生や教職員にかわいがられている。この子はビンボーちゃんというらしい。



## 浦和ねこ

うらわ美術館の近くで。ひんやりと冷たい石が気持ちいい、風がよく通る場所を選んだのだろう。ねこは風の道を知っている。



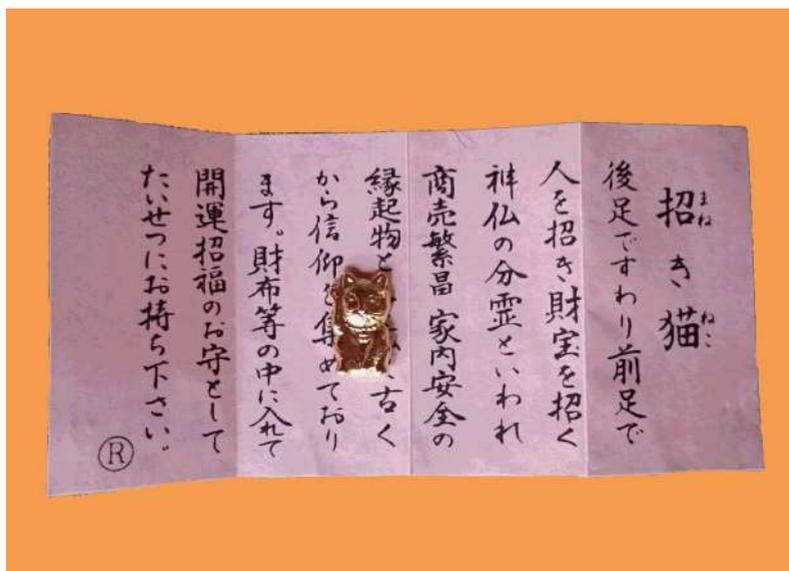
## 看板ねこ

平成29年8月11日、新しくできた山の日にあえて海へ行く。城ヶ島から三崎港まで歩く途中、料理屋の店先で。むしろ営業妨害。



ねこが来た！ —お正月—

初詣のおみくじはお守り入りで、招き猫でした！これは、ねこに縁のある年になるかも!?



ねこが来た！ —春—

ん、ん、なかなか来ない待ち遠しくて、食器でこんなものを作ってみました・



ねこが来た！ —秋—

来ました、来ました！本物が！隣の子猫です！



ねこが来た！ —クリスマス—

まつぼっくりと紙ねんどで作ったオーナメント。今年は沢山ねこに縁があった？ので、招福ねこをどなたかに届けましょう！



## 第4章 元気、楽しい、大好き！ じぶん が主役。

最近、慌ただしいばかりで、なーんか有意義ことが出来ていない？

毎日、自分探し中。楽しいことや趣味は…昔みたいにはないかな。

でも…。そう深く考えすぎない！楽しいことは身近にあるかも。

仕事、習慣、お祭り…

自分の視点を変えたら、どんなことにでも楽しさが見えてくるはず。

それは自分だけの特別なステージだ！

「元気、楽しい、大好き！」そして…

「じぶんが主役！」

### 「夢中になれること」って、どこにある？

生き生き！ 東京・働くひと図鑑

【身体をいつもニュートラルに！】 生島典子

【引越し、修理、メンテナンス……。何でもできる職人ワザ】 生島典子

【グリーンマンの正体は？】 生島典子

【最後はちょっと大人の雰囲気で…】 生島典子

ヒゲ剃りってこだわると、楽しい。

【ヒゲ剃りに、こだわってみた。】 藤塚勇揮

【ゾリッ。剃ってる音が聞こえる。】 藤塚勇揮

【男も、鏡を見てウツトリ。】 藤塚勇揮

【パーフェクトなシェイブを目指して。】 藤塚勇揮

見ているだけじゃもったいない 踊らにや損々

【青森・ねぶた祭】 得田 正

【神田祭】	得田 正
【深川祭（水掛け祭り）】	得田 正
【よさこい祭り（原宿表参道・スーパーよさこい）】	得田 正

身体をいつもニュートラルに！

東京都・武蔵小山で治療院を開業する大槻幸代先生。あんま・マッサージ・指圧師、鍼灸師の資格を持ち、タイマッサージやタイ武術も体得。私の身体の悪い部分も笑顔でゴリゴリしてくれる！



引越し、修理、メンテナンス…。何でもできる職人ワザ

わが家のハウス・コンシェルジュ、便利屋の上野恒章さん。家の不具合の調整や修理、メンテナンスなど、何でもやってくれるスーパーマン。娘の保護者仲間でもう20年近い付き合いに！



グリーンマンの正体は？

実は、未っ子の中学の担任の山下孝輔先生。専門は技術科。この日は体育大会で、チームカラーの緑で全身決めていているところ。生徒のやる気を引き出す、有無を言わさぬ熱い指導で人気（？）。



最後はちょっと大人の雰囲気で…

東京・西国分寺の駅の近くにあるバー、ジェイクスのマスター、平石達也さん。地元や近隣在住の酒好きが集まり、夜な夜な交流を図れるありがたい場所。うちの第2のリビングのようなスポット。



ヒゲ剃りに、こだわってみた。

毎朝のヒゲ剃りってめんどくさい。でも、道具ややり方をこだわると楽しくなってくるかも。今回紹介するのは両刃カミソリです。



ゾリッ。剃ってる音が聞こえる。

「カミソリを怖がってはいけない。しかし、リスペクトしなければならない。」  
剃るときは慎重に。



男も、鏡を見てウツトリ。

両刃カミソリで剃った肌は「キュッ」と音が鳴る。この感覚、クセになる。



パーフェクトなシェイプを目指して。

こだわりは自分だけのもの。そして自分だけの時間。毎日、何気なくやっていることも、少し楽しくなる。



## 青森・ねぶた祭

夏の眠気を祓う「ねむた流し」に源流をもつという、本州最北青森の「ねぶた祭」は、日本最大の灯籠祭り、東北三大祭りの一つだ。



## 神田祭

平安時代の武将・平将門を江戸総鎮守の神として祀る神田明神の祭礼で、毎年5月中旬に行われる。江戸の三大祭り、天下祭りだ。



## 深川祭（水掛け祭り）

富岡八幡宮の例大祭。江戸の三大祭り。沿道の観衆が神輿の担ぎ手に（浄めの）水を掛けることから“水掛け祭り”の異名をもつ。



## よさこい祭り（原宿表参道・スーパーよさこい）

戦後間もなく南国土佐高知で誕生。自由度の高さから全国各地に広まり、チーム毎の個性的なスタイルを観衆と一体で楽しんでいる。



## 第5章 エンジョイ × カラフル × デリシャス × ハッピーごはん

食は、いろんなシチュエーションに楽しみや喜びを連れてきます。球場では、食べものがお気に入り球団への応援をパワーアップ。グルメが球場を盛り上げ、ビールの味も格別になります。旅先では、様々な街の文化を彩る食べ物が常に五感を刺激して、いつも旅のワクワクが止まりません。もちろん、地元(国分寺)でも美味しい食べ物やお店との出会いは、宝物を見つけた時のように嬉しい瞬間です。野菜畑では、野菜の成長を見守り、収穫し、それをいただく日が待ち遠しい至福の時。旬の野菜が食事の時間を豊かにします。4人が選んだ色彩豊かなおいしい幸せごはんたちを是非、目で味わって楽しんでください！

### 球場・旅・町・畑のおいしいを目で味わう。

【選手プロデュース弁当で応援の腹ごしらえ】	横 浜子
【並んで手にしたローストビーフ丼】	横 浜子
【交流戦限定メニューのスイーツが可愛い】	横 浜子
【空の下で飲むビールがとにかく最高！】	横 浜子
【アイルランドのクリスマスケーキ】	酒井洋子
【高円寺阿波踊りの屋台】	酒井洋子
【台湾屋台の赤い串】	酒井洋子
【イタリアはシエナの八百屋さん】	酒井洋子
【『レオーネドーナツ』のつぶつぶ苺】	阿多真理子
【『加藤けんぴ店』のおにぎりとおかず】	阿多真理子
【『ライトハウス』の野菜天ぷらうどん】	阿多真理子

『おたカフェ』の季節野菜ポタージュセット]	阿多真理子
[市民農園、我が区画]	鈴木ひろみ
[トウモロコシ]	鈴木ひろみ
[夏野菜のハイライト]	鈴木ひろみ
[収穫祭、持ち寄りの料理]	鈴木ひろみ

選手プロデュース弁当で応援の腹ごしらえ

これから始まる試合にワクワク。食べ応え抜群の牛タン弁当は、レタスの奥に隠れた牛タンに胡椒と塩ダレが効いてとても美味しい。



並んで手にしたローストビーフ丼

人気店の行列に並んでいる間に試合開始……。慌てて席に駆け込んで、  
にんにく醤油ダレの柔らかいお肉でご飯を巻いて頬張る。



交流戦限定メニューのスイーツが可愛い

シュークリームには、ベ이스ターズを意識した星があしらわれていた。  
インスタ映えするスイーツやドリンクもたくさんある。



空の下で飲むビールがとにかく最高！

冷たいビールを飲めば、応援にも勢いがつく。横浜スタジアムでは球団のオリジナル醸造ビールが販売され、人気を博している。



## アイルランドのクリスマスケーキ

ヨーロッパの中では地味な印象のアイルランドでも、クリスマスケーキは鮮烈な赤と白のコントラスト。



## 高円寺阿波踊りの屋台

卵の黄と白、ベーコンのピンク、キャベツの黄緑、整然と並ぶ中にもお祭りの喧騒と活気が浮かんでくる。



## 台湾屋台の赤い串

日本はりんご飴だけど、これはたぶんプチトマト。一粒一粒マンガみたいにツヤが出ていて愛くるしい。



イタリアはシエナの八百屋さん

マンジャの塔で有名な街は、どこを撮っても色鮮やかでフォトジェニック。きらめくブドウの山。



## 『レオーネ・ドーナツ』のつぶつぶ苺

ケーキの様にしっとりした焼きドーナツ。つぶつぶ苺は、私のお気に入り。他には地場野菜を使った甘くないドーナツもオススメ。



## 『加藤けんぴ店』のおにぎりとおかず

手作り芋けんぴとおにぎりのお店。店の小上がりでイートインできます。  
おかずセットもあるので公園や自宅でのお昼ごはん。



## 『ライトハウス』の野菜天ぷらうどん

ガレージを改装した店主手作りの店内で、8種のこくベジ（国分寺野菜）  
天ぷらをバリ島の塩でいただくとお腹も心も満たされます。



## 『おたカフェ』の季節野菜ポタージュセット

こくベジ（国分寺野菜）で作るポタージュに天然酵母パンと季節野菜のミニおかず付きで旬の味が楽しめます。街歩きの一休みに。



## 市民農園、我が区画

一人当たり3m×10m区切りの畑。6月初旬、里芋が順調、ジャガイモは花が咲き、ズッキーニの雌花も受粉を待っています。



## トウモロコシ

今年のトウモロコシ収穫はこれから。収穫が遅れると 待ってました！  
と虫食いが発生します。虫よりも早く収穫せねば！



## 夏野菜のハイライト

畑で完熟した真っ赤なトマトは、夏野菜のハイライト。毎年同じようなのに、写真に撮ってニンマリしてしまいます。



## 収穫祭、持ち寄りの野菜たっぷりの料理

じつは料理は得意ではありません。持ち寄られた彩りゆたかな容器の脇に、少しの煮豆をそっと置きました。



## 第6章 街の音が聞こえる

私たちが暮らす東京の街は刻々と変化しつづけている。破壊と形成、誕生と死滅。再生をくり返し成長しつづけている。日々の営みの中で見落としてしまいそうなほど小さな変化もある。日常を放れ上へ上へ出来るだけ上へ昇ってみる。混沌とした360°の街を独自の視点で切り撮った時、無意識の記憶が甦り街の音が聞こえてくる。

### 東京小片

[今どこ?]	関口まり子
[破壊から再生へ]	関口まり子
[ここはどこ細道じゃ]	関口まり子
[夜の工事現場]	関口まり子
[路傍の雑草]	タダジュンコ
[朝霧の交差点]	タダジュンコ
[タワーマンションⅠ]	タダジュンコ
[タワーマンションⅡ]	タダジュンコ
[多角形の空]	宮 幸子
[光を浴びる]	宮 幸子
[バベルの塔]	宮 幸子
[空をキャンパスに]	宮 幸子

今どこ？

雨上がりの公園のベンチ。待ち合わせた相手の姿はない。切なさとかすかな後悔をかき消すように、スマホがピポパと鳴る。



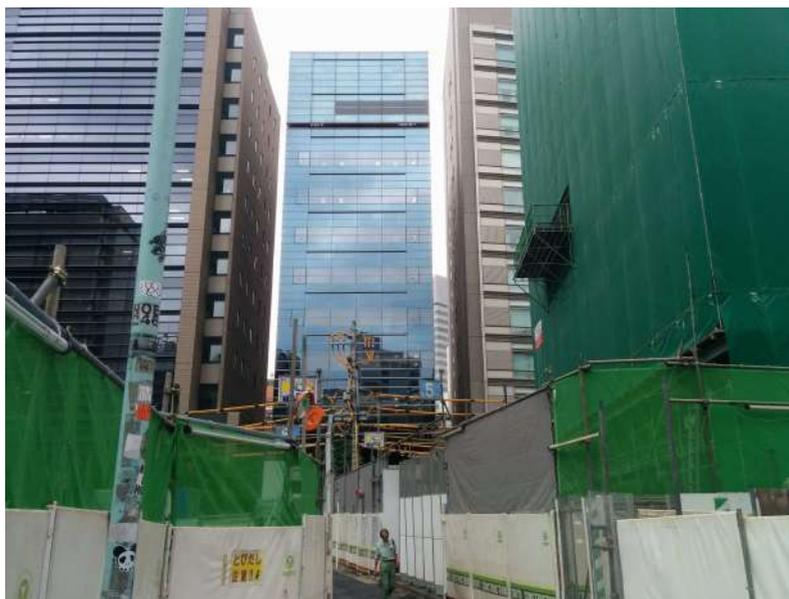
## 破壊から再生へ

古いビルの壁を巨大な鉄の爪が轟音を立てながら削り取っていく。もうもうと立つ煙。魂を鎮めるかのように水が撒かれる。



ここはどここの細道じゃ

高い塀で仕切られた細い通路を歩く人には、向こう側の音は聞こえても姿は見えない。ある日突然、新しい世界が見えてくる。



## 夜の工事現場

真冬の午後6時。工事現場に残っていた人影が消えた。飲食店やオフィスの窓の明かりが、無音の重機を照らす。



## 路傍の雑草

いつの間にかあったはずの家が更地となっていた。主を失った庭の花が、雑草の中に混ざり昨年と同様に可憐な花をつけていた。



## 朝靄の交差点

ある早朝の散歩で見馴れたいつもの交差点を通る。深夜まで降りつづけた雨が上がり、もわっとした水蒸気が一面に広がり幻想的に濃霧発生中。なんだかワクワクする。



## タワーマンション I

はけ（国分寺崖線）上のお気に入りの階段。ここから新しい国分寺の顔が見える。国分寺の空に突き出た双子ビルまだまだ成長中。



## タワーマンションⅡ

緑と湧水と歴史のまち国分寺。JR中央線、特快の停まるまち国分寺。駅から直結のツインタワーマンション。国分寺に新しいキャッチコピーが増える。



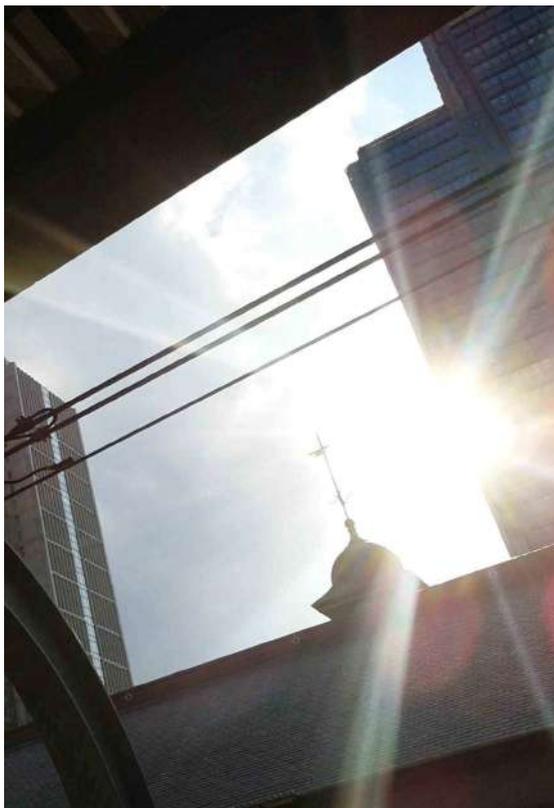
## 多角形の空

京王線府中駅南口。工事が止み、フェンスが取り除かれ、新しいビルが、今まで見たことがなかった空の形を出現させる。



## 光を浴びる

空には光もある。長いエスカレーターを上った先に陽の光が出迎えてくれた。東京駅1番線ホーム、丸の内に一番近いホーム。



## バベルの塔

上野で「Study of BABEL」を鑑賞後移動。街の音が遮断された六本木のビル52階で、バベルの塔から見上げた空を想像する。



空をキャンパスに

窓の格子がリズムを刻む。見えるビルによって空がデザインされていく。  
高層ビルが立ち並ぶ都会ならではの楽しみ方。



## 第7章 季節の記憶

ふと見上げた空に美しい雲を見つけたとき。自然の中で予想もしなかった風景に出会ったとき。夕暮れに変化していく光が織りなす景色に目を奪われたとき。夏休み、少女たちが遊ぶ姿に、過ぎて行く短い季節を思いながらほんわかと幸せを感じたとき。

そんな、ささやかだけど心が動かされた瞬間を記憶に留めたいと思う。ともすれば通りすぎて忘れてしまいそうなぐらいのわずかな心のひっかかりにも、写真を撮ることでちょっと立ち止まってみる。一枚の写真は記憶にたどり着く手がかりとなって、その時々感動や季節の香りまでも呼び起こしてくれる。

### 自然、色、光、との出会いを楽しむ

[青い花 青い空]	村山和美
[ふと見た 朝日]	村山和美
[青空と雲の造形]	村山和美
[見上げた空 夕景]	村山和美
[始まりの音]	坂田佳織
[冒険の道]	坂田佳織
[歴史のたくわえ]	坂田佳織
[光のなかに見えたもの]	坂田佳織
[過ぎし日を照らす夕日]	有島康
[無人の駅舎]	有島康

[駅ホームからの夕焼け]  
[夕闇に包まれる駅]

有島 康  
有島 康

青い花 青い空

「死ぬまでに行きたい！絶景」として話題となったひたち海浜公園。丘一面のネモフィラの青と空の青が広がる青の世界は壮観。



## 見上げた空 朝日

特別な場所に行かなくても、感動的な瞬間に出会えることがある。家の窓から見えた空も時に驚かされる。



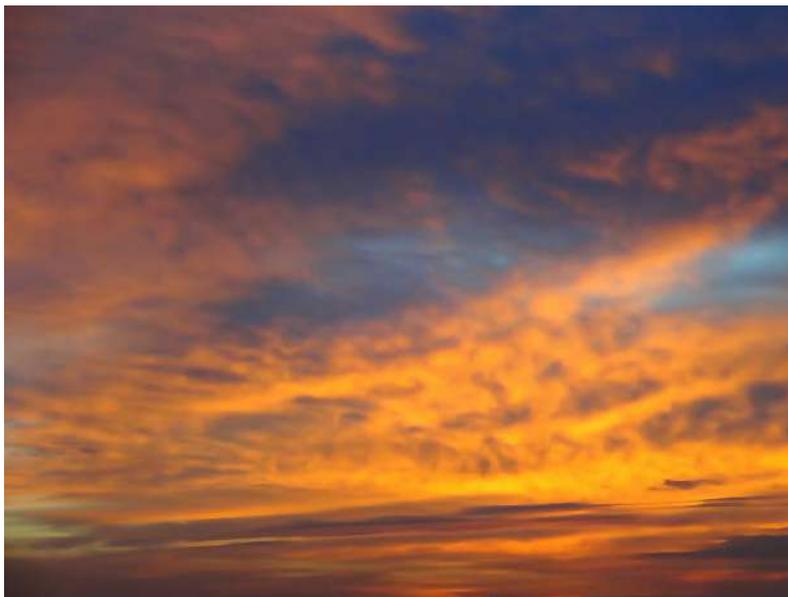
## 青空と雲の造形

空を流れていく白い雲は次々にその形を変えていき、飽きることはない。



## 見上げた空 夕景

刻一刻と鮮やかな色を変えていく夕空もまた、空を眺める楽しみを与えてくれる。



## 始まりの音

ボンッと鈍い音がすると、真っ赤な中身が現れた。夢中で果実を頬張ると、少女たちは種を吹いた。夏の風が種をさらった。



## 冒険の道

どこまでも続く道。湖の方から吹く風が緑を揺らす。澄み切った空気が体を満たす。夏の太陽にみつめられながら、少女たちは歩いた。



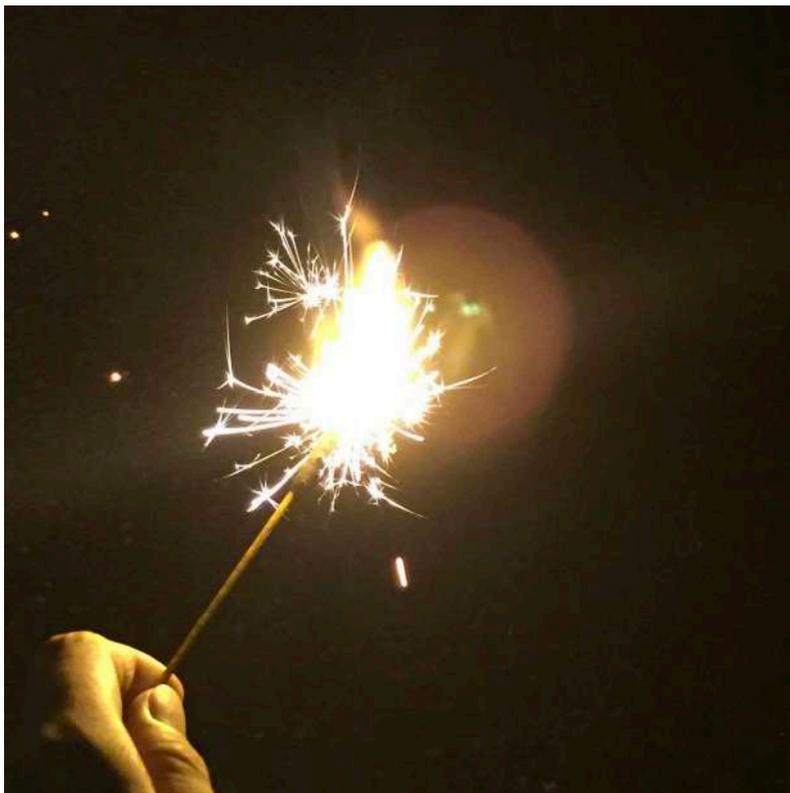
## 歴史のたくわえ

湖の淵に立つ。自然が積み重ねてきた歴史に思いをはせる。さて、少女はこれからどのような歴史を積み重ねて行くのだろうか。



光のなかに見えたもの

この花火が消えたら夏が終わる。光が少女たちの切なげな横顔を優しく照らす。光のなかに忘れられない夏を映しているのだろうか。



## 過ぎし日を照らす夕日

秋田県美郷町の奥羽本線飯詰駅の駅前。かつての駅周辺の賑わいを思わせるタクシー会社営業所が、夕日に浮かび上がる。



## 無人の駅舎

誰もいない駅舎前に帰る人を待つ自転車が一台。暗くなると待合室の蛍光灯があたりを照らした。



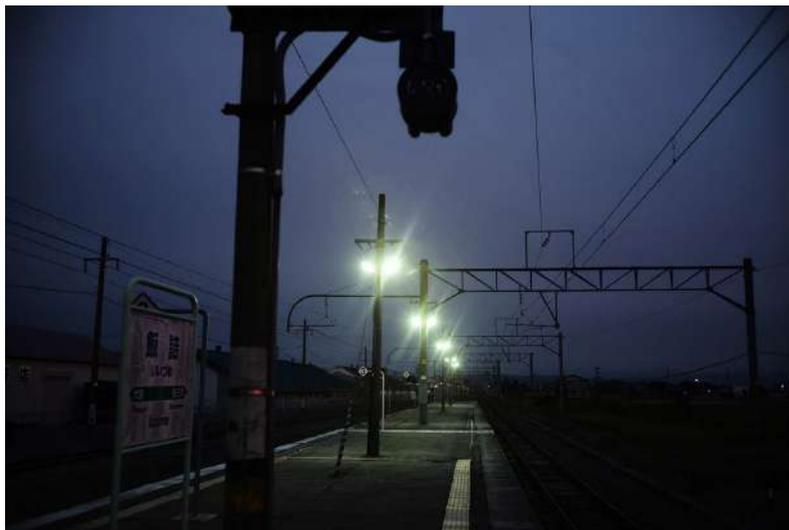
## 駅ホームからの夕焼け

駅舎を抜け階段を登りホームに降りると駅裏の空には夕焼け。一面に広がる田んぼからは初秋の稲穂の濃厚な香りがしてきた。



## 夕闇に包まれる駅

すっかり夕闇に包まれた小さな駅のホーム。眩しく立ち並ぶ灯りの佇まいに惹かれる。



## 奥付

### 【掲載氏名（五十音順、敬称略）】

赤塚 きょう子（あかつか きょうこ）

阿多 真理子（あた まりこ）

有島 康（ありしま やすし）

生島 典子（いくしま のりこ）

石河 聡子（いしこ あきこ）

宇佐美 綾乃（うさみ あやの）

Okachimachi（おかちまち）

川原 よし子（かわはら よしこ）

酒井 洋子（さかい ようこ）

坂田 佳織（さかた かおり）

鈴木 ひろみ（すずき ひろみ）

関口 まり子（せきぐち まりこ）

タダ ジュンコ（ただ じゅんこ）

得田 正（とくだ ただし）

西岡 英子（にしおか えいこ）

藤塚 勇揮（ふじつか ゆうき）

ホソイ（ほそい）

細田 恭子（ほそだ きょうこ）

宮 幸子（みや さちこ）

村山 和美（むらやま かずみ）

横 浜子（よこ はまこ）

吉廣 紀代子（よしひろ きよこ）

---

東京マガジンバンクカレッジ 雑誌総合セクション 創刊号

平成29年8月発行

編集 東京マガジンバンクカレッジ [雑誌をつくるワークショップ]

発行 東京都立多摩図書館

〒185-8520 東京都国分寺市泉町二丁目2番26号

電話 042-359-4020

ホームページ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

---